

\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ° 。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: °



# みらいつうしん

10月号

2017年10月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 長南 康子

\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ° 。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ★。



## 集団の中の一人一人

朝夕、だいぶ涼しくなってきました。季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期ですが、さらに、季節外れのインフルエンザが流行っているようです。皆様ご健康には十分ご注意ください。

さて、9月に入りすぐに、本学園の大学2年生の教育実習がありました。学生たちは保育者を目指して、皆、緊張感をもって実習に臨みます。多くの学生が保育に参加する中で悩むことは、自分の周りにいる子どものことは分かるが、クラスの他の子どものことを把握することが難しいと言います。今回の実習期間は一週間でした。この間でクラスの全ての子ども達と関わり、一人一人を理解することは、保育者でも物理的な困難さを感じる場合があります。

しかし、難しさの中でも、実習生が得た大切な学びの場面がありました。3歳児の保育に入った学生が一週間毎日、給食時に子どもたち一人一人に麦茶を配るようにと担任から言われました。この体験から学び取ったことが実習ノートに書いてありました。「今日も遊びの場面でじっくり接することができなかった子がいました。しかし、お茶を配りながら、名前を呼んだり、言葉をかけたりすることができました。そして、微笑みを交わしたり、アイコンタクトをとったりすることでも、一瞬心がつながったように思いました。みんなと気持ちがつながったように感じてとても嬉しかったです。」と振り返っていました。

クラスの子どものことを知りたい、多くの子ども達と心のつながりを持ちたいという気持ちがあればどのような時でも、どのような場面でもその機会を見つけることができ、関係はつけられるということを学ぶことができました。

私たちは、いつどのような時も、一人一人の子ども達と心のつながりを持っていることが大事なことです。一日を振り返り、誰々ちゃんと今日は関わる時間が少なかったと思う日もあります。そのような日はそばにいて、何気なく声をかけたり、話をしたりすることもできます。一人一人の育ちを促すチャンスを見逃さずに、集団の中であるからこそ、あなたと私の関係を大事にして、関わりをもつことが大切だと考えます。

10月は運動会が実施されます。広い校庭、多くの観客の中で過ごす時間はいつもと異なる特別な日になるでしょう。そのような環境の中でも子ども達が自分らしさを出して、楽しさが感じられる日になるとよいと願っています。子ども達の興味や関心、発達の様子、年齢に応じた意欲などを十分に考えて、運動会に向かう遊びや活動、準備を進めています。特別な日であるからこそ、日常性を大切にして、一人一人に寄り添う保育を行っていきたいと思います。  
(長南)



13日の秋桜の会には、110名の祖父母の方がご参加くださり、賑やかな会となりました。「童心にかえり、楽しく過ごせた」「子どもの歌声に感動した」など、たくさんの感想をいただきました。祖父母の方々が子ども達を見つめる眼差しは、とても温かく、子どもたちにとって、心地よい時間が流れているようでした。子どもに関わる大人は、“〇〇ができるように”“〇〇がうまくなるように”と成果を求めがちですが、子どもと過ごす時間を只々、嬉しそうにされているお姿に「大人の愛情に包まれて・・・」という本園の理念をイメージする貴重な時間となりました。暑い中でのご参加、誠にありがとうございました。  
主幹保育教諭 中城真由美